



hunger free world
食べる、生きる、明日を育む。

『第 22 回 書損じハガキ回収キャンペーン』

ご協力の御礼とご報告

コープいしかわで 955 名の組合員さんから
協力があり、換金額は 154 万 9340 円でした。
ご協力ありがとうございました。



ハンガー・フリー・ワールドの「第 22 回 書損じハガキ回収キャンペーン」へのご協力ありがとうございました。(2023 年 1 月～5 月末で実施)
飢餓に直面する国々で現地の人々が自らの手で栄養ある食べ物を持続して得られるよう、母子の健康を守るための栄養改善、収入創出、農業推進などの事業に活用されます。

未使用・書き損じハガキ	670,126 円
未使用切手	409,920 円
使用済切手	17,190 円
ブルーチップ・グリーンスタンプ	61,200 円
商品券	207,810 円
中古 CD・DVD ゲーム	22,920 円
金・プラチナ	85,814 円
外国紙幣	74,360 円

(換金の内訳)

※全国の生協や企業・他団体で取り組まれ、1 億 7,142 万 3,151 円の換金額になりました。

～ハンガー・フリー・ワールド (HFW) とは～

ハンガー・フリー・ワールドは、飢餓のない世界を創るために活動する国際協力 NGO です。「食料への権利」の実現のために協同組合などの住民組織を支援し、住民たちが自分の力で食べ物を得られるしくみや地域づくりに取り組んでいます。



※画像提供：認定NPO法人ハンガー・フリー・ワールド

～これまでの活動で実現された事例～

ハンガー・フリー・ワールド (HFW) が支援しているウガンダ、ルグジ区の協同組合では、2020 年から新しい養鶏事業の準備を開始し、43 名の参加者に 2020 年 12 月に鶏のヒナを 1000 羽、さらに 2021 年に入ってから 453 羽販売し養鶏による収入が参加者の家計を改善しています。
今回の養鶏事業では、生後 1 ヶ月のヒナを協同組合がまとめて購入し、一部の費用を協同組合が補助する形で、事業の参加者である組合員と地域の農家に販売しました。また、ヒナの販売に先立って、農業経営に関する研修で、養豚や、豆やトウモロコシの栽培などと合わせて養鶏技術を学ぶ機会も提供しています。
養鶏事業のほか、組合員への貸付、預金、トラクターの貸出、共同農園での豆やとうもろこしの栽培に取り組んでいます。協同組合では共同農園で収穫したトウモロコシから鶏の餌ミックスに混ぜるメイズブランを作り、鶏糞を肥料として農業に活用するなど、循環させる試みを少しずつ始めています。

参加者の声より

ムリンドワ・ジョージさん (ルグジ協同組合 養鶏事業参加者)

養鶏を始めたことで、子どもたちの学費を払えるようになりました。必要な知識を学んで、協同組合の農家仲間からのサポートも得られるようになったので、飼育する鶏の数を増やして、収入も増やせるだろうと期待しています。



ルグジ地区で養鶏に取り組んでいる様子